

財政局事業計画表

委員長名 田口 大 印

<p>【テーマ】 正確な財務管理を行いLOMの運営を支えよう</p> <p>【主旨】 我々秋田JC今後もJC運動・活動を行っていくためには、LOMの財務状況を把握・管理していくことが必要です。 揺るぎない根太いあきた実現のため定期的に財務の管理をすると共に、各委員会に提出できる情報を収集し活用に向け動くことで、LOMのスムーズな運営を目指します。</p>	<p>【具体的内容】 (1)財務状況の管理とLOM予算の策定、及び決算書の作成を行います。 (2)各委員会の事業予算及び決算の確認を行います。 (3)各種助成金・補助金の情報収集を行います。</p> <p>【進め方】 (1)月次で監査を受け、財務状況の定期的な管理を行います。 (2)理事会開催前に確認を行います。 (3)各種助成金・補助金を積極的に活用できるよう促します。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1)総会にて報告します。 (2)理事会にて随時報告します。 (3)理事会及び委員会にて随時報告します。</p>															
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC	ブロック大会 サマコン		青年フォーラム 全国大会		世界会議		通常総会
例 会 担 当																
委員会年間スケジュール	前年度より引き継ぎ	助成金等 情報収集 及び報告	委員会等 事業予算 及び決算 確認	月次決算 及び監査												監査
	予算作成	→														年次決算 書(案) 作成

総務広報委員会事業計画表

委員長名 石田 裕 印

<p>【テーマ】 LOMの基盤を支え、多くの人々との橋渡し役となろう！</p> <p>【主旨】 我々JCが目指す明るい豊かな社会の実現のためには、地域住民の理解・協力が必要です。 そこでLOMの基盤となる業務を正確に行い、また様々な媒体を活用し、JC運動を広く発信することで地域住民に理解・協力を求めます。 また先輩達との交流を通じて多くのことを学びとり、今後のJC運動に活かすことで、揺るぎない根太いあきた実現を目指します。</p>	<p>【具体的内容】 (1)総会の設営・運営を行い、議事録を作成します。 (2)理事会の議事録を作成します。 (3)基本資料・会員名簿の作成をします。 (4)各種資料のコンプライアンスチェックを行います。 (5)秋田ブロック大会主管LOMとしての秋田JCメンバーの士気を高めるような場を設けます。 (6)会員相互及び秋田JCシニアクラブ会員との絆を深められるような場を設けます。 (7)JC運動を発信します。</p> <p>【進め方】 (1)(2)(3)委員会で行います。 (4)法令に基づきコンプライアンスチェックを行います。 (5)決起集会となる例会を企画・運営します。 (6)秋田JCメンバーと秋田JCシニアクラブ会員との交流事業を企画・運営します。 (7)-①JCニュースの企画、編集、発行を行います。 (7)-②ホームページの更新、運営を行います。 (7)-③SNSや新聞等の媒体を多く活用しJC運動を広く市民に発信します。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1)2016年1月の通常総会にて行います。 (2)毎月の理事会にて報告します。 (3)-①基本資料をホームページで公開します。 (3)-②会員名簿を発行します。 (4)各種資料に対応し、審査します。 (5)担当例会にて行います。他1 (6)シニアクラブ交流事業にて行います。他1 (7)-①毎月発行します。 (7)-②随時更新します。 (7)-③随時更新します。</p>																
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC	ブロック大会 サマコン		青年フォーラム 全国大会		世界会議		通常総会	
例会担当						例会準備	→			担当例会			総会準備	→		通常総会	
委員会年間スケジュール	予定者会議 議事録作成 前年度より引き継ぎ		HPの運営 管理及び JCニュースの企画 発信	理事会議 事録作成								会員名簿 の基本資 料作成				シニアク ラブ交流 事業	通常総会 議事録作 成

郷土愛醸成委員会事業計画表

委員長名 鈴木 昌夫 印

<p>【テーマ】 輝くあきたの未来を願い、誇れるあきたをつないでいこう</p> <p>【主旨】 私たちが住み暮らすあきたの未来は、笑顔あふれる輝くまちであってほしいと誰もが願います。だからこそ子供たちへ誇れるあきたを受け継ぎ、郷土への愛着を育んでいかなければなりません。 そこで、これまで秋田 J C が行ってきた運動を基盤に、自然豊かな環境を次代につなぎ、地域のまつりに代表される独自の文化と深く関り伝統を継承していくことで、郷土愛あふれる輝くまちあきたの実現を目指します。</p>	<p>【具体的内容】 (1)自然豊かな環境を次代につなぐために、自然のサイクルを学び、環境運動の重要性を伝えます。 (2)秋田竿燈まつりを通して地域の伝統文化の魅力を伝え、愛着を持ち誇りと感じる事で郷土愛を深めます。 (3)秋田 J C が継続して秋田竿燈まつりへ参加していくために、今後の関わり方を検討します。 (4)秋田 J C の今年度を振り返り、次年度の運動につなげます。</p> <p>【進め方】 (1)サケの稚魚放流事業を実施し、連動して自然のサイクルの大切さも学ぶ事業を行政や他団体と協力して企画・実施します。 (2)-①秋田 J C 竿燈会と連携し、伝統文化を継承していく意義を伝える事業を企画・実施します。 (2)-②①を踏まえて秋田竿燈まつりに参加することで、より深く地域への愛着や誇りが持てる事業を企画・実施します。 (3)-①秋田 J C 竿燈会と委員会にて随時検討し、まつり終了後に秋田 J C メンバーと意見交換をします。 (3)-②①を踏まえて今後の方向性をまとめます。 (4)卒業式担当の常任理事と連携し企画・実施します。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1)担当例会Ⅰにて実施します。公2-② (2)-①竿燈まつり継承事業として実施します。 (2)-②担当例会Ⅱにて実施します。公1 (3)-①オープン委員会を実施します。 (3)-②理事会にて報告します。 (4)担当例会Ⅲにて実施します。他1</p>															
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC	ブロック大会 サマコン		青年フォーラム 全国大会		世界会議		通常総会
例 会 担 当				例会準備	→	例会準備	→	担当例会Ⅰ	→	担当例会Ⅱ	→	例会準備	→	担当例会Ⅲ		
委員会年間スケジュール	竿燈会への聞き取り 前年度よりサケの稚魚放流事業の引き継ぎ	→	→	竿燈まつりとの関わり方の検討		竿燈まつり継承事業の企画・検討	→		竿燈まつり継承事業の実施	→	オープン委員会の準備 秋田竿燈まつり本番	→	オープン委員会	→	検討結果の報告	

あきたの未来選択委員会事業計画表

委員長名 根田 達也 印

<p>【テーマ】 未来を創る一步を共に踏み出そう</p> <p>【主旨】 近年、投票率の低迷にも表れているように政治への関心の低下が懸念されています。 明るく豊かなあきたを創るためには、市民一人ひとりが当事者として能動的に政治に関わり、自らの選択が未来を創っていくことを自覚する必要があります。 そこで、未来を担う中核となる若年世代を中心に、政治へ参画する意義を啓発し、主体的に行動する道を示すことで、揺るぎない根太いあきたの実現を目指します。</p>	<p>【具体的内容】 (1)多くの市民が地域の政治や経済について考えるきっかけとなり、政治参画意識が高まる場を設けます。 (2)政治を身近に感じ、市民の意見が政治にどのように反映されているかを確認できる場を設けます。 (3)政治啓発活動を展開する団体を設立し、市民が主体的に政治へ参画するための基盤づくりを行います。</p> <p>【進め方】 (1)行政や大学等の関係機関と協働し、企画・実施します。 (2)行政や政治関係者と協働し、企画・実施します。 (3)検討会Ⅰ・Ⅱを通じ、(1)の参加者を中心とした学生と協働し、企画・実施します。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1)例会Ⅰにて実施し、アンケートを活用し意識の変化を検証します。公2-(1) (2)例会Ⅱにて行います。公2-(1) (3)9月～11月までの期間を目標に設立し、例会Ⅱにて経過と今後の展望を発表します。公2-(1)</p>																
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC	ブック大会 サマコン			青年フォーラム 全国大会		世界会議		通常総会
例会担当			例会準備	→	担当例会Ⅰ						例会準備	→	→	担当例会Ⅱ			
委員会年間スケジュール			他団体の 活動調査	→	聞き取り 調査	企画・検 討				検討会Ⅰ 実施	→	→	検討会Ⅱ 実施	→	発表	検証	

市民社会資本増強委員会事業計画表

委員長名 佐藤 宏喜 印

<p>【テーマ】 根太いあきたをつくるソーシャルキャピタルへ ～広げよう、深めよう、「あきたのたから」の輪～</p> <p>【主旨】 2011年より「ソーシャルキャピタルを活かしたまちづくり」を主題に我々秋田JCが取り組んできた事業は、秋田醸しまつりとして市民に広く認知されるようになりました。 5年目の節目となる本年度は、ソーシャルキャピタルのまちづくりにおける重要性をいま一度再認識することで、「あきたのたから」を永続的に輝かせる磐石な基盤を整備し、根太いあきたを実現するソーシャルキャピタルの将来像を明確に示します。</p>	<p>【具体的内容】 (1)ソーシャルキャピタルの重要性を再認識するために、それを活かした他団体の取り組みや手法を学びます。 (2)秋田醸しまつりの運営基盤を強化するため、組織的、運営的、財政的に必要な施策を検討し実践します。 (3)秋田醸しまつりに対する秋田JCの携わり方について、中長期的ヴィジョンを策定します。</p> <p>【進め方】 (1)有識者を交えて学びを得る機会を設けます。 (2)実行委員会を組織し、事業を実施します。 (3)過去の実績や事業の現状について分析し、オープン委員会にて広く意見収集を行います。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1)担当例会Ⅰで行います。公2-(1) (2)担当例会Ⅱとして秋田醸しまつりを実施します。公2-(1) (3)中長期計画書を作成し、理事会および実行委員会に提出します。</p>																
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC	ブック大会 サマコン		青年フォーラム 全国大会		世界会議		通常総会	
例 会 担 当		例会準備	→	→	担当例会 Ⅰ					例会準備	→	→	担当例会 Ⅱ				
委員会年間スケジュール	前年度より引き継ぎ		→	事業調査	→	実行委員会 の組織準備	実行委員 会発足	実行委員 会運営					事業実施				オープン 委員会の 開催 中長期計 画書作成
						オープン 委員会の 開催	中長期的 ヴィジョン 策定会 議										→

会員拡大委員会事業計画表

委員長名 小木田 昌広 印

【テーマ】
 一期一会
 ～共にあきたの未来を熱く語ろう～

【主旨】
 これまで秋田JCは数多くの意識変革運動を行ってきました。あきたの未来を本気で考える仲間が多ければ、地域住民の意識変革はより速度を上げて行われるものと考えます。
 「本気であきたの未来を考える団体」ということを発信することにより、秋田JCの活動内容を広く、正確に理解してもらい、会員拡大に繋が、根太いあきたの実現を目指します。

【具体的内容】
 (1)あきたの未来を本気で考え、行動のできる、志高い仲間を30名拡大します。
 (2)入会候補者や仮会員がJC運動を理解できる場を設けます。
 (3)「秋田JCの魅力」を体感できる場を設けます。
【進め方】
 (1)①拡大ツール・入会候補者リストの更新を行い、秋田JCメンバーに情報を共有していただきます。
 (1)②入会候補者リストを基に、各企業とのネットワークを持つ会員と連携して拡大運動を行います。
 (2)①入会候補者にJCを正しく理解してもらうために、秋田JCメンバーとの交流を図る場を企画・実施します。
 (2)②JCの基礎知識を学ぶとともに、同期の絆を深めあう事業を企画・実施します。
 (3)参加者体験型の事業を企画・実施します。
【成果発表の方法と時期】
 (1)①委員会への訪問、理事会閉会後の会員拡大会議にて情報を確認・共有します。
 (1)②情報提供者と共に委員会メンバーが入会候補者の企業へ訪問します。
 (2)①異業種交流会にて行います。
 (2)②JCスクールにて行います。 他1
 (3)担当例会にて行います。 公2・(3)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC	ブロック大会 サマコン		青年フォーラム 全国大会		世界会議		通常総会	
例会担当									例会準備	→		担当例会					
委員会年間スケジュール	入会希望者募集																→
	拡大ツール・候補者リストの更新、企業訪問			会員拡大会議		異業種交流会	面接式					異業種交流会	面接式				→
	前年度より引き継ぎ			JCスクールの企画			上期JCスクール			JCスクールの企画			下期JCスクール				→

【絆】 育成会議事業計画表

委員長名 三浦 圭介 印

<p>【テーマ】 夢溢れるあきたのため、紡ぐさらなる強い【絆】を</p> <p>【主旨】 我々が今後もあきたのためにJ C活動・運動を進めて行くには、秋田J Cメンバー間での連携と相互の更なる信頼が必要不可欠と考えます。 そこで、これからのあきたの未来を語り合い、共に夢を見られるメンバー同士のさらなる【絆】を紡ぐことで、壮大な夢に向かい活動できる秋田J Cを目指します。</p>	<p>【具体的内容】 (1)LOM事業への参加意識・活動意欲を高めることで、あきたの未来を語る事ができる同志を増やします。</p> <p>【進め方】 (1)-①委員会同士の連携を図り、【絆】をより一層深められる事業を企画・実施します。 (1)-②LOMが一丸となって今後もJ C運動に邁進できる事業を企画・実施します。 (1)-③家族に対して日頃の感謝を伝えることができる事業を企画・実施します。</p> <p>【成果発表の方法と時期】 (1)-①会員交流事業Ⅰ・Ⅱ・Ⅲにて行います。 (1)-②担当例会にて行います。 他1 (1)-③会員交流事業Ⅳにて行います。</p>															
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
主要事業スケジュール				通常総会 京都会議					ASPAC	ブロック大会 サマコン		青年フォーラム 全国大会		世界会議		通常総会
例会担当					例会準備	→	→	担当例会								
委員会年間スケジュール					会員交流 事業企画・準備	→	会員交流 事業Ⅰ	事業準備	→	会員交流 事業Ⅱ	事業準備	→	会員交流 事業Ⅲ	事業準備	→	会員交流 事業Ⅳ